

エコ・あぐり・タウン くねっぴ 応援団だより

平成26年 3月28日発行 NO.33

訓子府町の「ふるさと応援団」に参加いただき、ありがとうございます。
みなさまと訓子府町を結び便りにできればと考えております。

★訓小・居小4人が訪問し交流

訓子府町の児童4人が、交換留学生として1月8日から15日まで姉妹町・高知県津野町に訪問しました。

津野町では、ホームステイしながら、中央小学校に通いました。ホームステイ先では、週末の休みに高知市内など観光名所を巡り家族の方々とも仲良くなりました。学校生活は4日間だけでしたが、たくさんの思い出をつくり津野町を後にしました。



応援団トピック

★高知県物産展 津野町コーナーにぎわう

高知県の観光と物産展が1月15日から20日まで北見市で開かれ、津野町からも多数の物産品が販売され、にぎわいました。

「姉妹都市コーナー」には、津野町産のしょうが、さつまいも、里いも、煎茶、鶏卵の「土佐ジロー」などが販売されたほか、津野町産オリジナルの大福「満天の星」も昨年に続き、販売されました。

期間中、津野町の株式会社「満天の星」の山崎聡子さんと訓子府町の職員が販売員となり、姉妹都市コーナーで津野物産品を販売しました。



★熱戦を展開 オホーツク玉入れ大会

第12回オホーツク玉入れ選手権大会が2月16日スポーツセンターで開かれ、訓子府町内をはじめ北見市、紋別市、置戸町などからジュニア8チーム、一般21チームが参加しました。

身長よりはるかに高いバスケットをめがけ、1チーム4人から6人の選手が100個の玉を投げ入れる速さを競い、会場内は熱気に包まれました。

一般の部では、「紋別アクア」(紋別市)が優勝、ジュニアの部では「ホワイトガッツ」(北見市)が優勝しました。



★ひと足早く幼稚園や小学校生活を体験

居武士小学校の一日入学が2月5日、訓子府小学校は20日に行われました。4月に入学予定の居小が3人、訓小は33人が小学校の生活体験をしました。

居小では、1・2年生4人と一緒に授業を受けました。音楽室でカスタネットを演奏したり、「お兄さん、お姉さん、に手伝ってもらいながら教室で折り紙に挑戦しました。

また、訓小では、1年生の教室で父母が見守る中、ぬり絵などの授業を受け、少し早い小学校生活を体験しました。

訓子府幼稚園では一日入園が2月7日に行われ、4歳児42人が父母とゲームなどをして楽しみました。



北海道常呂郡訓子府町東町398番地 訓子府町役場企画財政課

Tel 0157-47-2115 Fax 0157-47-2600

E-mail kikaku@town.kunneppu.hokkaido.jp

URL <http://www.town.kunneppu.hokkaido.jp/>

訓子府小学校開校100年を迎えて

定例町議会が3月6日から17日の日程で開催され一般会計41億5,470万円の大型予算が原案どおり承認されました。全議員9名が一般質問に立ち、町の将来や農業、福祉、空き店舗が目立つ商店街支援策等々の質疑が行われました。

今年は特別養護老人ホーム「静寿園」の10床増築等を始め、新図書館建設の用地購入、平成28年度開設予定の「認定こども園」設計提案予算など盛りだくさんです。

開校100年を迎える訓子府小学校記念事業に100万円の予算を投入することになりました。記念式典や多くの記念事業が期待されますが3月20日に開催された卒業式では中央ステージに「100年分のありがとう」～明日に向かってはばたこう～の大文字が掲げられていました。卒業生全員による自筆の「将来の夢」には「獣医師」「農家」「プロ野球選手」「喫茶店を経営」「保育士」等々の夢沢山の内容です。

応援団の皆さん、こんな素敵な子ども達が頑張る「第35回全日本リコーダーコンテスト」(3月30日・午後4時・東京江戸川区総合文化センター会場)の応援におでかけください。私も



応援にかけつけます!

町長's Eye



新成人の門出祝う ～成人式開催～



平成26年訓子府町成人式が1月12日に公民館で行われました。対象者46人のうち男女各20人の40人が出席し、多くの祝福を受けました。

この日は、天候に恵まれ、新成人がスーツや振り袖などに身を包み会場入り。

式典では、町民憲章を朗唱したあと、新成人代表に記念品が贈呈され、「社会人としての自覚をもち、成長していきます」と誓いの言葉を述べました。

式典終了後の交流パーティーでは、久しぶりに再会した友達と記念撮影するなど、成人の第一歩を楽しく過ごしていました。



第35回さむさむまつり

訓子府町の冬の一大イベント「さむさむまつり」が、2月2日（日）に町公民館前特設会場で開催されました。

今回で35回目となるさむさむまつりは、昭和55年1月に第1回目が開催され、家に閉じこもりがちになる冬の時期に、子どもたちに外で楽しんでもらおうと、町内の青年団体が中心となって企画し、運営されてきました。

今年の内容は、町内の文化団体による太鼓演奏やHIPHOPダンス披露、綱引き大会、キャラクターショー、もちまき大会などが特設ステージで行われたほか、町内各団体による手作り屋台が会場にずらりと並び、町内の青年団体等が作成した大雪像や雪でできた滑り台では、子どもたちの歓声が聞こえてきました。



各種大会で大活躍★

「全国JOC ジュニアオリンピック春季水泳競技大会北海道予選会」が、2月23日に札幌市で開催されました。

出場した訓子府小学校の児童3人は、昨年11月3日に紋別市で開催された「第3回オホーツクスプリント水泳競技大会」で、北海道予選会に出場できる標準記録を上回りました。

3人は、50m平泳ぎや自由形、背泳ぎ、200m個人メドレーなどに出場し、活躍しました。

日ごろの練習の成果を発揮し、力強くけんめいに泳いでいました。



訓子府小学校3年の横山心映さんが、3月2日に小樽市で開かれたスポーツカップ争奪全道ジュニアアルペン決勝記録会に出場しました。

横山さんは、1月に北見市で開かれた道東地区予選会小学3年女子の組で2位となり、「全道切符」を手に入れました。

全道大会では3位と見事な滑りを見せ、今後活躍も期待されます。

横山心映さん→



訓子府小学校6年の渡邊唯翔くんが、3月28日から開催されたジュニアオリンピック2014全日本ジュニアスキー選手権大会に北海道3位の成績でこの全国大会出場の特権を獲得し、北海道の強化指定選手にも選ばれました。

全国大会では、コンビで2位、大回転で6位とすばらしい成績をおさめました。

清住の作田浩輝さんが、1月12日に遠軽町で開催された第69回国民体育大会スキー競技会の成年Bの部（大回転競技）で優勝し、2月21日から24日まで山形県で開催された国体に北海道選手団の一員として出場しました。

作田さんは、高校3年のときから2年連続してアルペンスキージュニア世界選手権日本代表に選ばれたほか、農業に従事してから、回転の全日本ランキング5位をマークしたこともあります。

平成24年に現役を引退しましたが、今回、国体の予選に出場。国体の本選でも5位と活躍し、今後も農業の傍ら、スキー少年団の指導者としての活躍を誓っていました。

2月7日から9日まで帯広市で開催された全日本マスターズスピードスケート競技会で、大野良弘さん（若葉町）が、男子Cクラス（45歳以上55歳未満の部）で、3位に入る活躍を見せました。



大野良弘さん→



作田浩輝さん→